

森下仁丹株式会社

「仁丹」の老舗が

新機軸のカプセル事業へ

海外
発注可
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
試作可
小ロット
量対応



老舗の伝統を革新力に変える

業務内容

「仁丹」で培った技術力で
新分野へ積極的に挑戦

銀粒の「仁丹」で知られる老舗企業
が、新たな一歩を踏み出している。そ
の柱が、健康食品を始めとするヘルス
ケア事業と、新機軸となるシームレス
カプセルの製剤開発事業だ。

健康食品部門では、選択と集中を
進めることで、カプセル技術を駆使
した主力商品「ビーフィーナ」シリーズ
の売り上げが好調に推移。国内では2
社目となるNSF認証工場として、徹
底した品質管理体制のもとで質の高い
商品を生み出し続けている。

また、メデイケアブランドとして新
たに充実させたOTC医薬品も高い成
果を上げている。

独自技術

継ぎ目なく液体を包む
オンリーワン技術を開発

今後、同社の成長の軸となるであ
ろう分野が、銀粒仁丹の製造から派生し
たシームレス（継ぎ目がない）カプセ
ル事業だ。カプセルの中に液体を入れ
られないかという試行錯誤から生まれ
たこの技術。2重になったノズルの内
側と外側に異なる液体を入れ、冷やし
た油に滴下すると界面張力が働き、外
側の液（皮膜液）が継ぎ目なく内側の
液（内容液）を包み込むのだ。

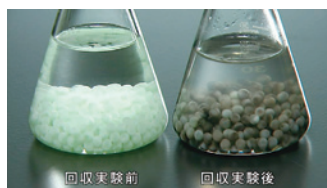
同社ではこの技術を活用し3層・4
層のカプセルも開発。これにより、従
来は不可能だった親水性の液体も、カ
プセルに内包可能になった。

この技術は、生きたビフィズス菌を
腸まで届ける「ビーフィーナ」等でも採
用されている。

商品例

技術開発を重ねて
バイオ分野での応用例も

シームレスカプセル分野の最新世代
が「バイオカプセル」だ。合成高分子
樹脂を皮膜としてカプセルを形成し、
内部で微生物を培養できるようにした
ことで、技術応用の可能性が飛躍的に
向上。研究中の応用例が「レアメタル
の回収」だ。微生物入りカプセルによ
り、産業廃液中のイオン化したレアメ
タルを還元して回収する仕組みであ
る。また巣の中で卵を舐めて世話をする
シロアリの習性
を利用し、駆除剤
入りの疑似卵（カ
プセル）で白アリ
駆除を行う画期的
な方法も生み出し
た。このオンリー
ワン技術には企業
からの問い合わせ
も多いという。



微生物でレアメタルを回収

今後の展望

連携先の企業と共に
カプセルの可能性を探る

「仁丹ブランド」にあぐらをかか
ず、常に社会に必要とされるものを生
み出したい」と話す駒村社長。

今後はまず、セルフメディケーショ
ンの重要性の高まりを受けてOTC医
薬品や健康食品の販売に重点を置くこ
う。同時にカプセル事業でも提携企
業を常に模索しながら新たな可能性を
広げる意向だ。一時は売り上げの低迷
を経験した同社だが、駒村社長のもと
で充実の第2創業期を迎えつつある。

COMPANY PROFILE

森下仁丹株式会社

大阪 24 ISO 14001

当社の
歴史

創業120周年となる当社は、100年以上にわたり、「銀粒仁丹」
や「仁丹体温計」でご愛顧いただきましたが、大きな転換
期に差し掛かっています。このような状況だからこそ、「社会に
求められる存在」であり続けることが肝要だと考えます。健康
食品のBtoC分野、シームレスカプセル事業のBtoB分野におい
ても、この信念を忘れずに努力を続けてまいります。

「常に社会に必要とされる企業であれ」。
この言葉を忘れずに歩んでいきたい。

代表取締役社長 駒村 純一さん



■主な事業内容

医薬品・医薬部外品・医
療機器・食品等の製造・
販売、シームレスカプセル
の製剤開発・製造受託等

■主な取引先（納入先）

ドラッグストア・薬局・
薬店、医薬品メーカー、
食品メーカー等

住 所／〒540-8566
大阪市中央区玉造
1-2-40
TEL／06-6761-1131
創 業／明治26年2月
設 立／昭和11年11月
資本金／35億3,740万円
従業員／250名

<http://www.jintan.co.jp/>